

令和 4 年度 医学部解剖慰霊祭が執り行われました

令和 4 年度の医学部解剖慰霊祭が 6 月 18 日にしめやかに執り行われました。学生、医師の教育と研究のために献体された 81 柱並びに、病気の原因を調べる病理解剖学のために供された 25 柱の御尊霊に対し、参加者一同により哀悼の意を表しました。

今年も新型コロナウイルス感染症は終息しておらず、医学部解剖慰霊祭の開催様式に最後まで悩みました。最大定員は抑えつつ、今年は医学部学生を要所で入場させる形で執り行いました。6 月 18 日土曜日はご遺族と来賓、千葉大学教員、医学部学生で解剖慰霊祭を開催し、看護学部学生、大学院生、医師は 6 月 20 日月曜日に献花台を設置して献花を行いました。

慰霊祭では、医学部学生代表による「感謝のことば」が奉読され、医学のためにお体を捧げられた方々の御霊に対しご冥福をお祈り致しました。

最後に松原医学部長より謝辞が述べられ、滞り無く閉会となりました。

例年千葉白菊会（*）からも参列される方がいらっしゃいました。役員会でも検討して頂き、今年はコロナ禍でもあり残念ながら自粛となりました。来年こそ、もっと多くの参列者で実施できることを願っております。

（文責：環境生命医学 講師 鈴木崇根）

*千葉白菊会・・・千葉大学医学部における医学の教育・研究のために死後自らの遺体を無条件・無報酬の精神で献体する篤志団体です。現在・未来の医学はこの献体制度無くしては成り立ちません。千葉大学医学部として心より感謝申し上げます。

（URL:<https://www.m.chiba-u.ac.jp/class/bioenvmed/shiragiku/index.html>）



追悼のことばを述べる松原医学部長



感謝のことばを述べる医学部 3 年生代表



ご遺族をお見送りする医学部 3 年生